

アンケート結果について （配慮事項に関する結果）

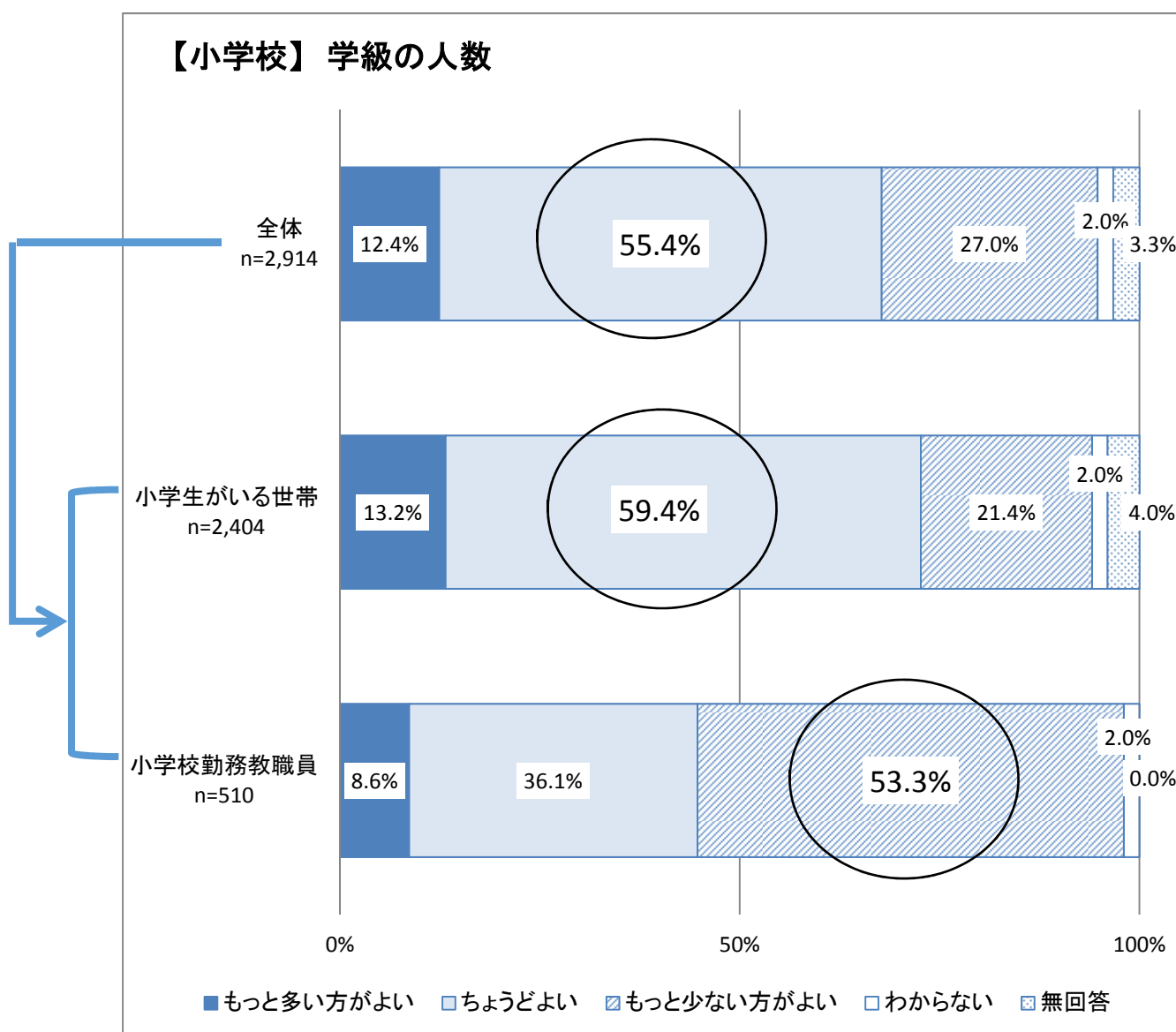
1 学級（クラス）規模 に関する結果

問 1 3 あなたの世帯のお子さんが通学している学校（又はあなたが勤務する学校）の1学級の人数（クラス規模）については、どのように感じていますか。

（1）小学校

ア 全体（属性ごと含む。）

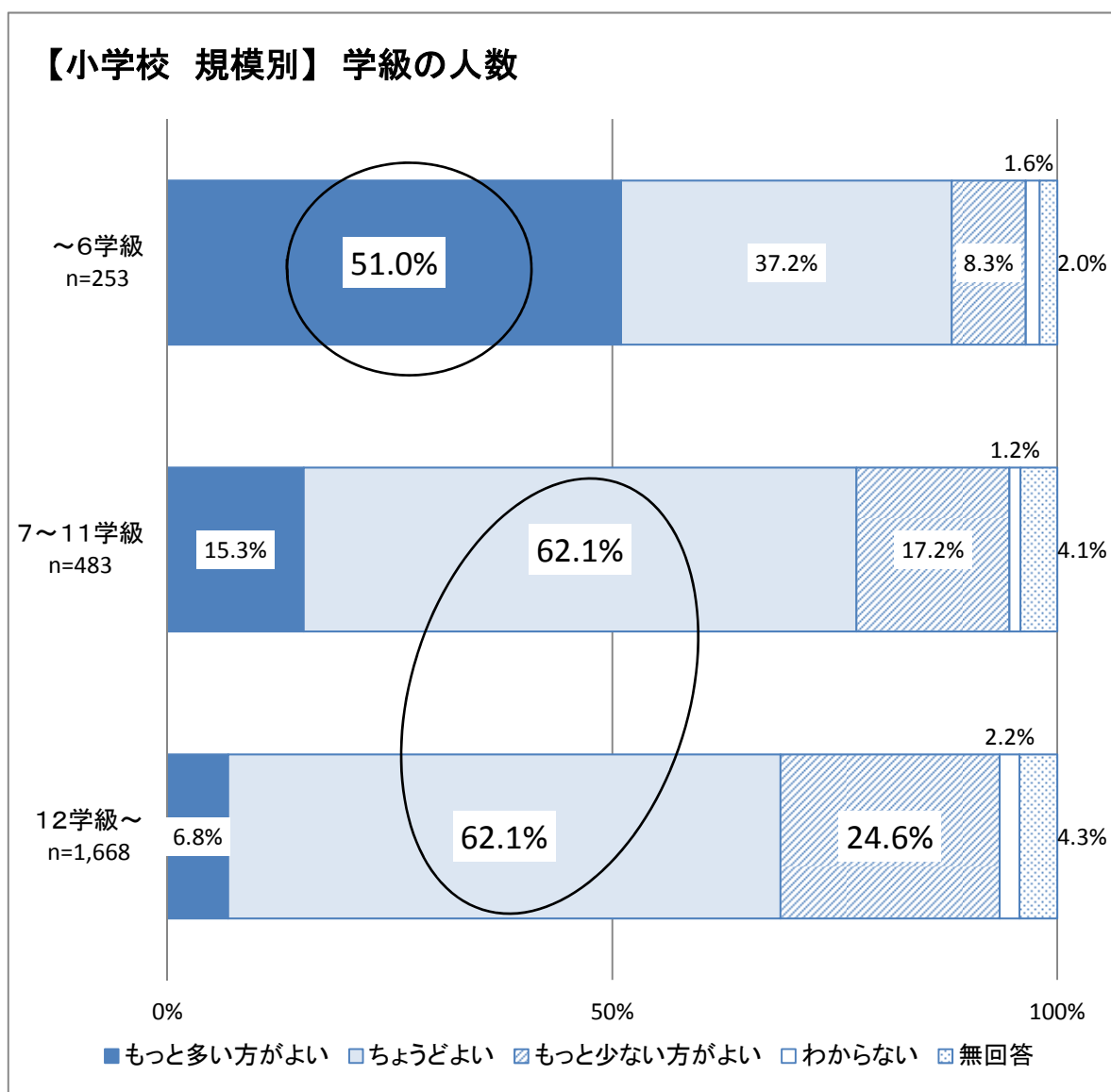
- 全体で見ると、「ちょうどよい」が最も多い。
- 属性ごとに見ると、小学生がいる世帯においては、「ちょうどよい」が最も多いが、教職員においては、「もっと少ないほうがよい」が最も多い。



学級(クラス)規模 (小学校について)

イ 規模ごと

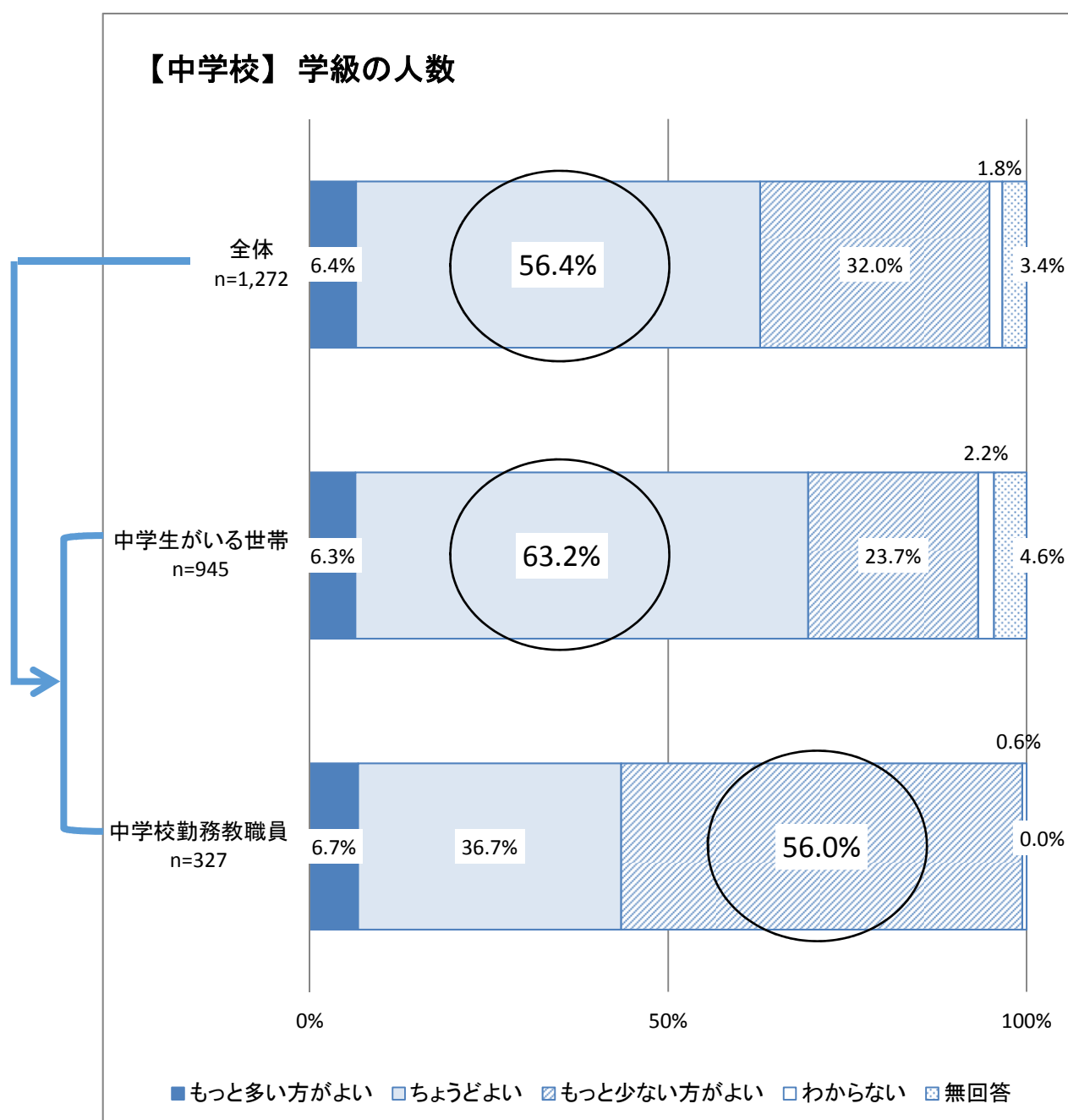
- 7学級以上の学校では「ちょうどよい」が最も多く6割を超え、現在の規模に概ね満足していると考えられる。
- 一方、6学級以下の学校では「もっと多い方がよい」が最も多く半数を超える。



(2) 中学校

ア 全体（属性ごとを含む。）

- 全体を見ると、「ちょうどよい」が最も多い。
- 属性ごとに見ると、中学生がいる世帯においては「ちょうどよい」が最も多く、教職員においては「もっと少ないほうがよい」が最も多い。

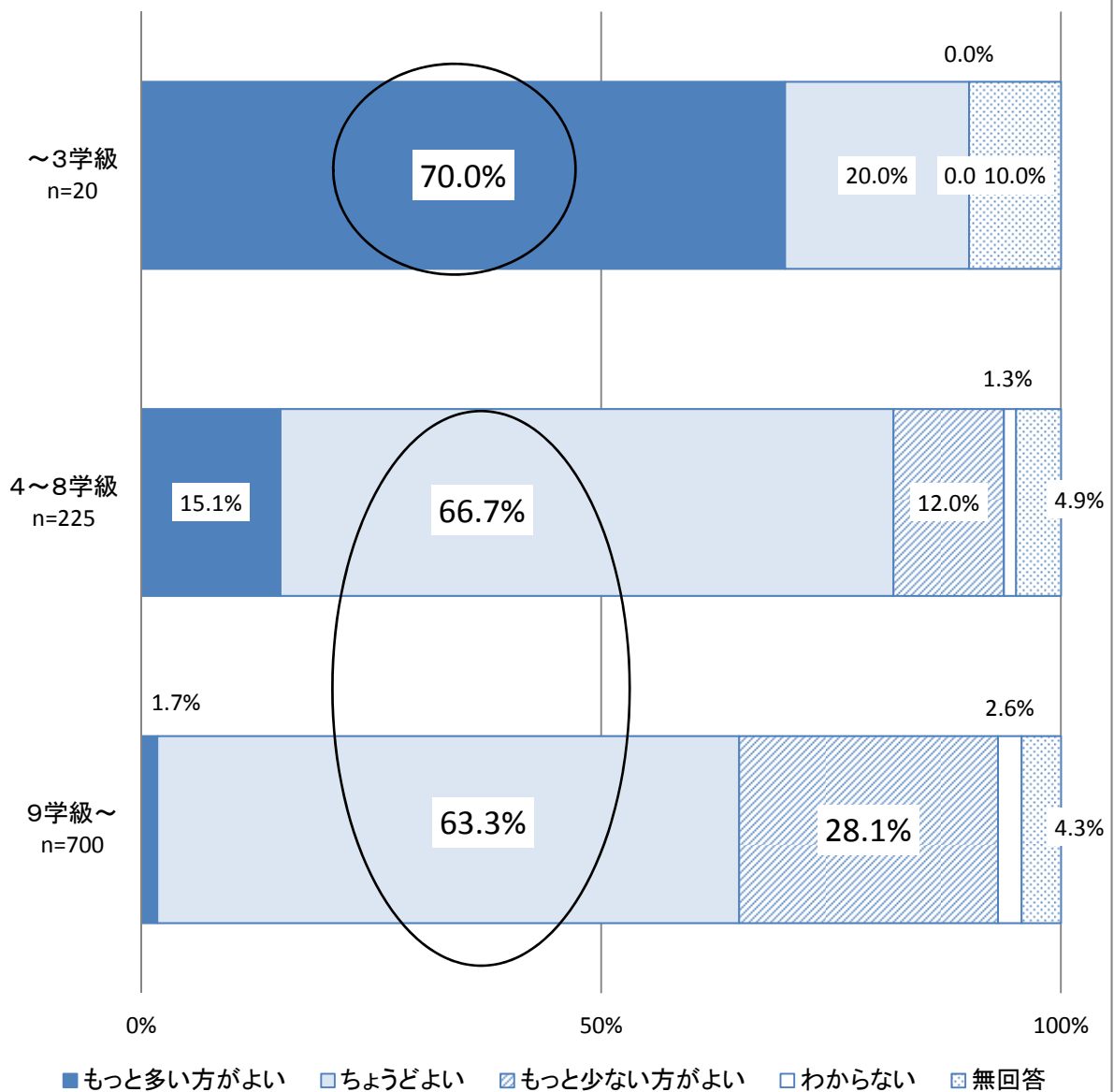


学級(クラス)規模 (中学校について)

イ 規模ごと

- 3学級以下の中学校では「もっと多い方がよい」が最も多く、7割を超える。
- 4学級以上の中学校では「ちょうどよい」が最も多く6割を超え、現在の規模に概ね満足していると考えられる。

【中学校 規模別】学級の人数



(3) 学級(クラス規模)について、問13のように感じる理由(主なものを抜粋)

① もっと多い方がよい

分類	意見(要約)
ア 協調性、社会性などを学べるように	<ul style="list-style-type: none">・3から7人では少なすぎて、学力、人間関係の面でも不安要素が多い気がする。・現在30人未満で男子が少なく、協調性を養うためにもう少し多い方がよい。・多くの友達と触れ合いを通して、人間関係を学んでほしい。
イ 学び合いができるように	<ul style="list-style-type: none">・10名以下なので、多様な考えに触れたり、学び合うことが難しい。・切磋琢磨する機会に恵まれる。
ウ いろいろな役割が果たせるように、負担軽減ができるように	<ul style="list-style-type: none">・20人程度では、早い段階から役割が固定化しているようで、残念である。・人数が少ないと役割を分担するのが難しそう。・役割が多く、忙しそう。・中学生は行事から人間性を育むことが多くあり、25人以下では物足りない。

② ちょうどよい

分類	意見(要約)
ア 10人程度がよい	<ul style="list-style-type: none">・個別活動が増える。・きめ細かな指導を受けられる。
イ 20～30人程度がよい	<ul style="list-style-type: none">・20人程度なので教員が丁寧に関わってくれ、指導の目が行き届く。・受験を考えると、先生が深く関われる30人前後がよい。・30人を超えると、教室が狭く感じる。・30人程度は、グループや班編成に適しており、集団としての効果が得やすい人数である。・合唱コンクールや体育祭等の集団活動に適している。

学級(クラス)規模

③ もっと少ない方がよい

分類	意見(要約)
ア 30人以下がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの変化を先生に感じ取ってもらうには、30人以上では難しい。 ・5年時の40人から6年時に26人になって、子どもが落ち着いて勉強できている。 ・次の理由で30人程度がよい。 <ul style="list-style-type: none"> ① 個に応じた指導ができる。 ② 競争も取り入れた意欲の高い授業、学級経営ができる。 ・20から25人であれば、教員の負担感が軽減される。
イ 40人は多い	<ul style="list-style-type: none"> ・受験する生徒一人一人にきちんと対応するためには、40人は多い。 ・授業のまとまりがなく、先生の日も行き届かない。 ・教室もぎゅうぎゅう。
ウ 児童生徒との関わりを深めることが大切	<ul style="list-style-type: none"> ・教員に対する子どもの数が少ない方が、心の問題や勉強の遅れに気づき易くなるなど、より深く関わりができる。 ・親や先生が子どもをきちんと認めてあげることができる余裕が必要。 ・子どもの抱える問題が多様化しているので丁寧な関わりが必要である。
エ 学習指導の充実のため	<ul style="list-style-type: none"> ・受験に向け個々に応じた指導がしやすい。 ・学級の人数が多いと、授業に集中できない生徒もいる

2 通学 に関する結果（自由記載から抜粋）

分類	意見（要約）
ア 安全のための配慮が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・統合する場合は、通学の安全性に配慮してほしい。 ・登下校の距離が長くなることが心配。特に冬は暗くなるのが早いので。
イ 通学のための新たな仕組づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学やスクールバスの検討が必要 ・宿題をしながら兄弟姉妹を待つことができる部屋を準備するなど、新たな仕組みを作るべき。
ウ 徒歩通学できる距離が望ましい	<ul style="list-style-type: none"> ・バス通学は子どもの体力低下が心配。 ・自分の足で通える方がよい。
エ 子どもの負担とならない距離に	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの負担にならない距離にしてほしい（特に小学校の低学年）。 ・登下校で過大な時間的負担をかけない形に収めてあげなければならない。

以 上